

# あだたら

四月二十三日(日)

## 四月山行 鳥屋山山開き

報告 中脇ゆき子

新市部 生野山部  
 行所 松山部  
 本松山部  
 編あだた



四月二十三日登山日和。参加者七名。六時三十分二本松市役所出発。高速にて猪苗代ICへ。七時道の駅にて立花氏と合流。再度高速へ上り、会津坂下ICにて一般道へ。七時四十分、磐越西線茨野駅到着。安全祈願の神事終了後、駅前広場出発が八時四十五分。車道を通りトロリとした流れの阿賀川を



磐越西線 茨野駅前安全祈願祭

渡る。集落を過ぎ、登山計画書提出箱が置いてあるところが登山口。畑の道の両側はカタクリと白いキクザキイチリンソウの群生。春の妖精たちに声かけながら、春登山を目一杯楽しむ。力清水を渡り、第一見晴台に出る、十時十分。ここから先の急な階段には、雪が残っている。林道に沿って巻道をする。第二見晴台到着十時四十五分、少休憩。ここから尾根道をいったん下る。吹き付ける風が強く、つめたい。十一時五分山頂。既に登山者で大にぎわい(主催者によると参加者約六百人)。山頂からは白い飯豊が望める。山には白い衣(ころも)が一番似合う。昼食休憩後下山開始、一時五十分。往路をそのままと、登山口着十三時二十分。抽選会場で甘酒を頂き、温泉入浴後帰途。二本松着十七時丁度。

●編集連絡先  
 二本松市茶屋1-1633  
 0243(23)4425  
 佐藤 延子

四月十六日(日)

## 個人山行南会津、三岩岳

報告 加藤充彦



十六日三岩岳行って来ましたので、しばらくぶりに山行報告します。h七七〇、スタート、八時十四分沢入る。h九六〇、尾根合流点九時十分休憩。h一三〇五、十時二十四分これから急登始まる。h一六九五、十一時三十分台地が開ける、天気良く気持ちの良い登高が続く、十二時三十分岩の上に出た。昨年三岩沢へのドロップポイント、あの下だったがあの恐怖の斜度はやはり見えない、N氏が、岩の



山頂下避難小屋

トラバースは危険で一時間かかる、と言ってたが、まさに黒檜沢源頭部、転けたら即滑落だ。h二〇六五、山頂十二時五十四分、すかさず三岩沢を覗く、が手前しか見えない、雪底と急斜面、本日沢へ飛び込んでいる者はいない。滑り出し十三時三十分、上りトレースよりやや西側緩斜面を滑り込む、春ザラメ好感触。板滑走面のシャリ感がたまらない。体力有れば何度も登り返したくなる、いつも感じる事だ、二岩三岩快適滑走、AさんRさんビデオ?やタブで撮影。P一六九九からはデヨイ西側沢沿いを行き尾根滑りに興じる、雪重だがまた楽しい。h一三〇〇迄トラバースで流しコーヒータイム、やはり二の腕と太腿が痠痛寸前、これもいつもの事、登り出しから一緒の宇都宮の若手テレマーカーは軽やかだね。これより往路忠実に戻るが、細尾根は雪切れ、Aさんたまらず適当に沢へ滑り込み、テレ組はアンテナ??下を滑走。十五時無事駐車点に着いた。帰りはいつものクソ暑い伊南黒岩??で温まり、甲子トンネル経由で帰る。